

使っていますか?

令和4年度

がん受診券

がん検診は高いと思いませんか?「がん検診等受診券」を使って検診を受けると、検診費用の一部を市が負担するため、自己負担額を少なく抑えることができます。

検診名	対象年齢	検診項目・内容	自己負担額	
			集団検診	個別検診
胃がん	40歳以上	胃部X線検査(バリウム)	1000円	1600円
大腸がん	40歳以上	便潜血検査(2日採便法)	400円	600円
肺がん・結核	40歳以上	胸部X線検査(レントゲン撮影)	300円	500円
	原則50歳以上	喀痰検査	600円	800円
子宮頸がん	20歳以上(偶数年齢)	子宮頸がん検査(子宮頸部細胞診)	600円	1000円
乳がん	40歳以上(偶数年齢)	マンモグラフィ検査	700円	700円



がん検診のよくある質問

Q1 がん受診券が届かない年がある。毎年送付していないの?

A.原則、下記の人に送付しています。

- 胃がん・肺がん・大腸がん検診は、40歳以上の国保加入者に郵送しています。社会保険加入者は、申し出により郵送しています。
- 乳がん・子宮頸がん検診は、国保・社保どちらの加入者にも対象年齢の人に郵送しています。

Q2 年度年齢の意味がわかりません。

A.年度年齢とは、翌年の3月末時点での年齢となります。

Q3 人間ドックで受診したいが、補助は受けられますか?

A.補助を受けることができます。その際には、がん検診等受診券を医療機関へ提出してください。

Q4 胃カメラは受診券利用で補助を受けることができますか?

A.補助を受けられます。ただし、市が補助している額を超えた分は自己負担になります。



健康づくり課 職員の皆さん

初めてのご健診で、思わぬ病気が...
 かかりつけ医で初めて特定健診を受けた市民から「結果は血糖値が高くて糖尿病になってしまった。家族に糖尿病の人がいないので、思いがけないことでした。健診後は、市の保健師さんから身体の状態や糖尿病改善のための指導を受け、食事を薄味にしたり、ストレッチなどを実施し、同時に薬での治療も始めたことで、数値が大幅に改善しました。また階段を上がった後も息切れしにくく、足のむくみもなくなりました。変化もありました。今回の特定健診をきっかけに自分で自分の身体を守り、元気でいたいです」との声がありました。
 保健指導は特定健診を受診すると無料で受けられます。積極的に利用しましょう。

初めのご健診で、思わぬ病気が...

問い合わせ

がん検診の受診券、国民健康保険加入者の特定健診、後期高齢者健康保険加入者の長寿健診の問い合わせは浦添市健康づくり課へご連絡ください。
 ※社会保険加入者の特定健診については、各社会保険組合にお問い合わせください。



健康づくり課 健診係
 (保健相談センター内)
 ☎特定健診(942)4750
 (942)4751
 (942)4752
 ☎がん検診(875)2100

40歳～74歳の国民健康保険加入の人へ

特定健診・がん検診

受けましょう!



市内の国保加入者のうち、約3人に1人しか特定健診を受けておらず、コロナ禍で更に受診者が減っています。自分や家族のためにも毎年健診(検診)を受け、自身の健康状態を定期的に確認しましょう。

●市内の主な死因

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1位	がん (29.2%)	がん (28.5%)	がん (29.3%)
2位	心疾患 (13.9%)	心疾患 (13.5%)	心疾患 (14.1%)
3位	脳血管疾患 (9.8%)	老衰 (8.0%)	老衰 (11.2%)

(参考)衛生統計年報(人口動態編)沖縄県保健医療部

●生活習慣病治療にかかる医療費(比較例)



「けんしん」には「健診」と「検診」があります。読み方は同じですが、「健診」は健康診断を省略した言葉で、自分の健康状態を確認し、生活習慣病の予防や早期改善が目的です。特定健診・保健指導、定期健診や学校健診などがあります。定期的に医療機関を受診している人は、現在治療している病気やけがの治療で通院しているため、「健診」とは異なります。自分の健康管理のためにも、かかりつけ医と相談し特定健診を受けましょう。

本市の死因の1位はがんです。2位の心疾患と脳血管疾患は3大疾病と呼ばれ、いずれも生活習慣病です。生活習慣病は食生活や睡眠、運動、ストレスなどが深く関わり、日々の生活の積み重ねが原因で発症します。初期の生活習慣病はほとんどに自覚症状がなく、いつの間にか病気が進行してしまうことも多くあります。健診(検診)を受診することで自分の健康状態を把握し、必要に応じて早期の治療により、重症化も予防できます。さらに、健診を受診して自身の健康管理を行うことが、治療費の負担を減らすことにもつながりますので、「時間が無い」「元氣だから大丈夫」などと考えず、ぜひ年に1回は健診(検診)を受けましょう。

健診と検診の違いをご存知ですか?

毎年「けんしん」を受けることが大切!

特定健診項目の案内

9000円相当の診察が無料!

血液検査 血圧検査 身体測定 尿検査 問診

生活習慣を改善



必要な人は保健指導を受ける

健診結果が届く

個別健診 集団健診

予約

特定健診・がん検診受診の流れ